

# ネイチャーセンターだより



## 9・10月のみどころ

### 【9月】

シギ・チドリ類の渡りはピークを過ぎますが、中旬ごろまで干潟などでエサをとる姿が見られます。この時期は、少し変わった種類のシギ・チドリが見られることがあります。草原や森では、サラシナショウマやエゾリンドウ、ハンゴンソウ、ウラギクなど秋の花が咲き、湿原や森では、トンボが飛び交います。鳥たちの秋の渡りが始まり、少しずつカモの姿が見られるようになります。



干潟で採餌するキョウジョシギ

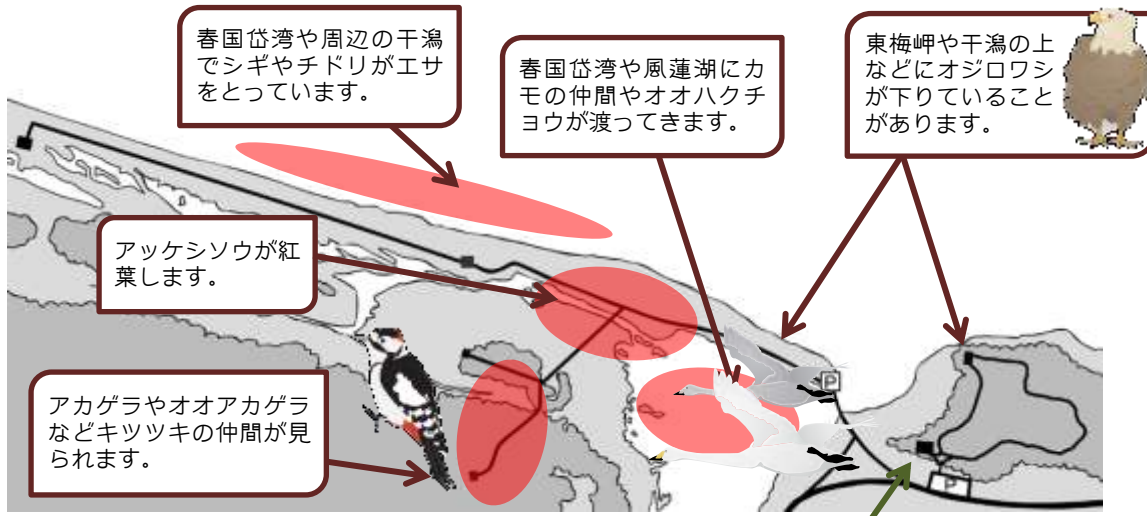


風蓮湖に渡ってきたカモたち

### 【10月】

9月下旬から紅葉し始めるアッケシソウが10月上旬から中旬にかけて見頃を迎えます。カモたちの種類も増え、沿岸にビロードキンクロ、湖にミコアイサなどが姿を見せます。10月中旬を過ぎるとオオハクチョウがたくさん見られるようになります。風蓮湖・春国岱で子育てをしていたタンチョウは、徐々に周辺の牧草地などに移動します。

## おすすめスポット



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

# トピックス

## 秋の水辺は、水鳥のパラダイス

夏の間さびしかった風蓮湖・春国岱の水辺が、9月を過ぎるとだんだんにぎやかになってきます。北方の繁殖地から、いの一番に戻ってくる水鳥はシギ・チドリの仲間です。続いてカモの仲間やオオハクチョウなどが渡ってきます。



一言で“水辺”といっても、干潟や浅瀬、湿原、塩湿地、オオハクチョウの水かき跡(蹠足)湖沼など様々な環境があります。水鳥たちはそれぞれ食べ物や生息環境に合わせて体形を適応させています。例えば、長い脚を使って浅瀬などを歩き、魚などを食べるアオサギやタンチョウ。同じく長い脚で干潟や浅瀬、砂浜などを走ってゴカイや甲殻類などを食べるキアシシギやメダイチドリ。水かきのある短い足で、ゆうゆうと水面を移動するカモの仲間やオオハクチョウ、カイツブリやバンの仲間など、生活にあった姿をしています。

また、水かきの形も様々で、私たちがよく知っているカモやオオハクチョウは、第2趾から第4趾の間に蹠膜がある写真のような水かきをしています。これに対し、ウの仲間は第1趾から第4趾の間に蹠膜がある水かきをしています。こうした趾の間に膜が張った足を蹠足といえます。さらに、それぞれの趾に木の葉状の弁膜がある弁足という水かきもあり、カイツブリやバンの仲間がこの足をしています。

水鳥たちの趾を見ることはなかなかできませんが、足跡を探してみると大きさも形も様々で、たくさんの種類の水鳥がいることがわかります。

## 春国岱クイズ

秋、風蓮湖にカイツブリの仲間が渡ってきます。彼らは潜水して小魚などを食べます。とても潜水するのが上手な鳥ですが、潜るときには、体のどの部分を中心に使うのでしょうか？(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：足は船のスクリューのように体の後ろの方についています。

A. つばさ

B. 足



カイツブリ

答えは次号に掲載します。(先月号の答え…A)

## いきもの図鑑



英名 Great knot 学名 *Calidris tenuirostris*

オバシギ (シギ科)

シベリアから東南アジアやオーストラリアへ渡る旅の途中に根室に立ち寄ります。ヒヨドリより少し大きい鳥(全長27cm)で、長い足で歩きまわってエサをとりまわす。春国岱の干潟や砂浜などで貝や甲殻類などを食べて体力をつけ、越冬地に渡っていきます。和名は、姥鳴や尾羽鴨と書きます。

# レポート

## 海辺の生き物観察会

8月4日春国岱周辺の海辺でカニやヒトデなどの生き物を観察する「海辺の生き物観察会」を行いました。

参加した子どもたちと一緒に生き物を探した結果、干潟ではヒトデやヤドカリなどがたくさん見つかりました。また、磯場ではカニや小さい魚がたくさん見つかり、場所ごとの違いを見ることもできました。見つけた生き物の中にはホテイウオ（ゴッコ）など魚もあり、生き物探しの成果は上々でした。

海辺での観察が終わった後、ネイチャーセンターに戻り、見つけた生き物を観察しながら図鑑作りを行いました。図鑑には、生き物を探すときのヒントとなるように生き物のいた場所や生き物の特徴を記入しました。



## レンジャー日記

8月中旬過ぎ、ネイチャーセンターの玄関前でふと空を見上げると、たくさんのトンボが飛んでいるのが目に入りました。

毎年8月中旬から9月中旬ぐらいまで、当館周辺や自然学習林で見られるトンボの種類がグッと多くなります。胸に金属のような光沢があるエゾトンボの仲間や、黄色と黒のシマシマ模様が綺麗なシオカラトンボ（♀）なんかも見られています。

また、春国岱の第二砂丘あたりに行くとルリボシヤンマも現れます。この時期は、あちこちでトンボが飛び交い、トンボの楽園のようになります。 【記：レンジャー松岡】



## NEWS

### 春国岱橋の工事が終わります

7月16日から8月31日まで行われていた春国岱橋の工事が終わり、9月から春国岱の自然観察路が利用できるようになります。シギ・チドリやカモの仲間など秋の渡りで飛来した鳥たちやウラギクやアッケシソウなど秋の草花が楽しめます。今回の工事の他に、9月以降、展望塔やキタキツネコース木道の一部工事を予定しています。日程等が決まりましたら別途お知らせいたします。



アカエゾマツコース観察路（木道）

# 行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
10月13日(日) 10:00~12:00	秋の春国岱散策&クリーンアップ活動 春国岱の自然を紹介しながら散策します。自然を楽しみながらオニハマダイコンの防除活動をします。また、春国岱のボランティア活動について紹介します。	無料	定員 20名(先着) 10/11までにお申込みください 対象：高校生以上 持ち物：長靴、帽子など外を歩ける服装、あれば双眼鏡
11月上旬 10:00~15:00	ネイチャーセンター祭り ボランティアグループ「スंक」のメンバーが、自然を満喫できるいろいろなイベントを開催します。	100円 ~	詳細な内容は、後日新聞などでお知らせします。 対象：どなたでも 集合：春国岱ネイチャーセンター
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでおもちゃの中にかくされた“本物”を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。
いつでも	ラムサール クイズ ネイチャーセンターの展示フロアに出題されたクイズに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。

## ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスंकと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：  
フィールドボランティア 300円  
ボランティアグループスंक 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター  
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地  
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570  
Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp  
URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

- ◆9月の休館日：4, 11, 17, 18, 24, 25日
- ◆9月の開館時間：9:00~17:00
- ◆10月の休館日：2, 9, 15, 16, 23, 30日
- ◆10月の開館時間：9:00~16:30
- ◆団体でご利用の方へ  
自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。(要 事前申込)